



## <2019年が終わります … ～新年を見据えて～>



### 【1月の行事予定】

1 (水)	元日
4 (土)	センタープレ演習③
5 (日)	センタープレ演習③
6 (月)	仕事始め 冬期休業終了
7 (火)	始業式 大掃除
8 (水)	学年会議
11 (土)	土曜課外①② 土曜講座① 登校学習会②
13 (月)	成人の日
15 (水)	職員会議
16 (木)	月曜授業
17 (金)	センター試験激励会③ 小論文ガイダンス① 進路講演会② 進研模試②
18 (土)	センター試験③ 進研模試①②
19 (日)	センター試験③
20 (月)	センター自己採点③ センター本番演習②
23 (木)	センター試験分析報告会③
24 (金)	スキー教室①
25 (土)	駿台模試②
26 (日)	第3回英検 (一次)
27 (月)	志望校検討会③ [-29日(水)] 職員会議

※○数字は学年を示します

学校から見渡す周囲の山々が錦の装いを見せ始め、良い季節になったなあと感じていたのもつかの間、師走となり、慌ただしく日々を過ごしているうちに、今年もすでに残すところ8日となってしまいました。「師走」と言い表わされている通りの忙しさを、学校でも感じています。この季節は本校の生徒たちにとっても本当に多忙な時期だと思われます。特に**2年生**は、**第4回定期試験**が終わると、その週末には英語検定試験**GTEC**の受検があり、週が明けた月曜には一大行事である**修学旅行**のために沖縄に出発。旅行後には**歌声コンクール**があるので、また練習の日々…と本当に息つく暇もない慌ただしさを経験したかもしれません。**1年生**にとっては、今年は中学生から高校生へと大きな変化を経験した年となりましたね。高校生活のすべてが初めての経験で、戸惑うことも多かったのではないのでしょうか。中学時代に外から南高を眺めていた頃とは違い、実際に入学してみると、高校生活はなかなか思っていたようにはいかずに辛い思いをしたこともあったかもしれません。でも日々の授業や様々な学校行事を通じて、クラスで団結し、友情を深めることもできたのではないのでしょうか。こうした経験を積み重ね、これからも一層高校生活に意欲的に取り組んでくれることを期待しています。

**3年生**の皆さんは、定期試験と同時期に行われた**志望校検討会**を受けて、各クラスで**三者懇談**が行われました。間近に迫ったセンター試験に向けて学習に一層力を入れていく一方で、スケジュールを考慮しながら、受験校を具体的に絞り込んでいく作業を進めなくてはなりません。そうした中、焦りを感じ始め、苦しいと感じている人もいるかもしれませんが、これから受験までの数ヶ月間こそが、**高校3年間で君たちが最も伸びる時期**でもあります。本番までの学習計画をしっかりとイメージし、気持ちを切らさず、一日一日の積み重ねを大切に最後まで頑張ってください。

**2019年は平成から令和への変わり目の年**でした。その令和元年もまもなく過ぎ去ろうとしています。今年度も残すところあと3学期のみとなりましたが、**1・2年生**はそれぞれ次の学年を見据えて、今すべきことを着実に実行して、基礎力を身につけるとともに**人間的にも成長してほしい**と思います。**3年生**は**高校生活の締めくくり**となります。最後の最後まで諦めずに、強い気持ちで頑張り抜き、各自の進路目標をぜひ実現してください。

## <1学年対象 大学出張講義が行われました>

12月13日(金)の6, 7校時の70分探究とLHRの時間を利用して、1学年の生徒を対象に**大学出張講義**を実施しました。今回は、東北大と3つの県内国公立大学(山梨大、山梨県立大、都留文科大)および、明治大や中央大など首都圏の私立大学からも講師の先生を招き、講義を行っていただきました。「世界の国ぐにを歩いて学ぶ」といった文系のテーマから「暮らしに役立つ微生物を知ろう」のような理系の内容まで幅広く設定された9つのテーマの中から、生徒たちは自分の進学希望に応じて講義を選択し、直接、大学の先生から講義を受けることができる貴重な機会となりました。どの分野の教室でも、**生徒たちが講師の話に真剣に耳を傾けて**おり、内容的には大学の講義に準じるものということで、中には非常に難しい部分もありましたが、「大学に入学したらどんなことを、どのように学ぶのか?」を考えるよい機会となったのではないかと思います。1年生の皆さんには、今回の出張講義を通じて垣間見た「**大学で学ぶこと**」を2年後にきちんと実現できるように、**興味関心の幅を広げながら、今の高校での学習や生活を大切**にして、日々しっかり取り組んで欲しいと思います。

## <進路を考えるヒント①>

裏面に記載の通り、今月は1年生対象の大学出張講義が行われました。私もせっかくの機会と思い、写真を撮りながら各教室を回っていたのですが、視聴覚教室で行われていた**明治大学の宮下芳明先生**のお話（テーマ：「AI、スマートフォン、VRゲーム、3Dプリンタの先には何がある？」）が大変刺激的で興味深い内容で、その場を離れることが出来ずに最後までお話を聞いてしまいました。また先生のご厚意で、ご持参されたVRの体験もさせていただくことができました。講義後にも先生とお話する時間があり、今後テクノロジーはどのように進んでいくのか、イノベーションはどのように起きるのかなど、短時間でしたが貴重なお話を伺うことができました。自ら「ツイ廃」と仰っていたため、先生のツイートを遡って読ませていただいたところ、**本校の校訓「開拓者精神」**に通じる素晴らしいつづきを発見しましたので、ここに引用したいと思います。（宮下先生から掲載許可を頂いています。）  
**「歴史を紐解くと、芸術であれ技術であれ、新しい時代を切り拓いたものに一定の傾向がみえる。「普通はやらない」「やってはいけない」「分野外」とされていたこと、あるいは「過去にいったん廃れた」ことにヒントがある。じゃあ不勉強でいいのか？メチャクチャなことをしてればいいのか？という、それも違うことが、やはり歴史を紐解くとわかる。時代の開拓者たちは、常識の境界、禁止の境界、分野の境界、領域ごとの栄枯盛衰がよく見えるほどに学び、経験したのち、周到な準備のもとでそれを破っているのだ。」**（12月11日の宮下先生のツイートより）南高生の皆さん、真の開拓者は無謀な博徒ではなく、深謀遠慮に長けた学徒なのですよ！

## <進路を考えるヒント②>



今回は年末ということで（？）進路を考えるヒント2つめです！左の写真に写る4人は一体誰でしょうか？「外国のドラマシリーズの女優さんたちだよ」と言われても「そうなんだあ」と頷いてしまいそうですが、実は**フィンランドの新しい首相サンナ・マリネ氏**（右から2人目）と閣僚の皆さんなのです。マリネ氏は現職の首相としては、**世界で最も若く（34歳！）**、フィンランドでは**3人目の女性首相**となるそうです。マリネ氏は議会第1党の社会民主党に所属し、これまでも運輸・通信相などを務めてきた方だそうです。**連立を組む4党の党首はすべて女性で、新しい内閣では19人のうち12人は女性**となる見込みということです。マリネ首相の政治家としての評価は、今後の彼女の政策運営で判断しなければならないと思いますが、少なくともこのニュースからフィンランドでは若い女性が重責を担うよう

な立場で活躍している様子がうかがえますね。一方、日本ではどうでしょうか？2015年にいわゆる**女性活躍推進法**が10年間の時限立法として施行されましたが、本当に「すべての女性が輝く社会づくり」ができているのでしょうか？今年のユークアン新語・流行語大賞に**#KuToo（クートウ）**（日本の職場で女性がハイヒールおよびパンプスの着用を義務づけられていることに抗議する社会運動）がノミネートされていることを考えると、彼我の違には千里の径庭があるように思うのは私だけでしょうか…？

### ◆◆◆ 冬休み中の自習室の利用に関する注意 ◆◆◆

12月27日および1月4日～6日の8：40～16：00の間は自習室で学習することができます。公共の場ですので、誰もが気持ちよく利用できるように、ぜひマナーを守ってほしいと思います。特に以下の点について、気をつけてください。

- ☆ 席を確保するために、荷物を置きっぱなしにしないこと
- ☆ 鍵の管理とヒーター、電灯の切り忘れに注意すること
- ☆ スマホなど校内で利用禁止の機器を使用しないこと
- ☆ 私語は厳に慎むこと

また、インフルエンザ等の感染症の流行を防ぐため、

- ★ 入室の際には、手指のアルコール消毒をすること
- ★ 室内ではできるだけマスクを着用して学習すること



などにも協力してください。特に、3年生は入試が間近に迫っていますので、体調管理には十分注意してほしいと思います。感染防止の観点からも、体調不良の時に無理をして登校することのないようにしてください。